


教員プロフィール

	<p>保育科 教授</p> <p>澤 田 孝 二 (さわだ こうじ)</p> <p>Sawada Koji</p>
所属	保 育 科
学位	体育学修士 (筑波大学)
資格・免許	<p>小学校教諭二種免許状 (昭 51 小 二 普 8 号)</p> <p>中学校教諭一種免許状 (保健体育) (昭 51 中 一 普 268 号)</p> <p>高等学校教諭二種免許状 (保健体育) (昭 51 高 二 普 284 号)</p>
学歴・職歴	<p><学歴></p> <p>1977 年 3 月 島根大学教育学部特別教科保健体育教員養成課程卒業</p> <p>1979 年 3 月 筑波大学大学院修士課程体育研究科健康教育学専攻修了</p> <p>1979 年 6 月 島根大学教育学部研究生 (1981 年 3 月まで)</p> <p>1983 年 10 月 東京大学医学部研究生 (1984 年 9 月まで)</p> <p><職歴></p> <p>1982 年 4 月 山梨学院短期大学保育科専任講師 (1991 年 3 月まで)</p> <p>1985 年 6 月 山梨県立高等看護学院兼任講師 (1990 年 6 月まで)</p> <p>1991 年 4 月 山梨学院短期大学保育科助教授 (2001 年 3 月まで)</p> <p>2001 年 4 月 山梨学院短期大学保育科教授 (現在に至る)</p>
担当科目	<p>子どもの保健、生活、保育内容健康、子どもと健康、子どもと環境、生活科教育法、体育理論、環境と健康、保育内容特論健康、保育内容特論環境</p>
専門分野	健康教育学、学校保健
現在の研究テーマ	<p>学生の健康生活の変遷－35 年間の調査結果の分析－</p> <p>学生の不安の愁訴の推移－35 年間の調査結果の分析－</p> <p>10 年前と現在の児童生徒の体力・運動能力の比較</p> <p>5 歳児の疾病罹患率の推移－50 年間の全国調査結果の分析－</p> <p>学生の音楽志向・スポーツ志向・性格特性の関連性の分析</p> <p>教科書からみる領域健康・領域環境の学習内容</p>
競争的資金等の研究課題	現在、競争的資金を獲得している研究課題はない。
所属学会	日本小児保健協会、日本学校保健学会
メッセージ	卒業までに保育・教育の専門性を身につけていくだけでなく、社会に出てさらに成長していけるよう、研究心、責任感、健康生活の実践力など、人間として生きる上で必要となる資質も伸ばして行ってください。

教育		
2020年4月～2021年3月		
教育方針	探究心をもち、ねばり強く物事に取り組める人間を育成したい。	
授業	授業の工夫	<p><子どもの保健> 小児保健学会、学校保健学会への参加や自身の研究活動で得た子どもの保健に関する最新的话题を授業に取り入れるよう工夫した。</p> <p><生活> 保育現場で活用できるような、動物、植物、季節にちなんだ折り紙を行い、学期末には折り紙ノートを完成させるなど、実践的な内容を積極的に取り入れた。</p> <p><保育内容健康> 健康に関わる紙芝居の原案作り、ポスター作り、標語作りなど保育に活かせる実践的な内容を取り入れた。</p> <p><子どもと環境> 保育現場で活用できるような、科学遊びや手作りおもちゃなど実践的な内容を積極的に取り入れた。</p> <p><体育理論> 学生が自己の心身の健康、生活行動、運動実践などの現状を把握し、課題を得られるよう、質問紙を用いて自己分析する機会を積極的に作った。</p> <p><環境と健康> 講義内容の理解を促すため、環境ならびに健康に関わる VTR など視聴覚教材を積極的に活用した。</p> <p><保育研究健康> 子どもの健康の動向がわかる論文に目を通す機会を積極的に作った。健康安全に関する検査や測定など実践的な内容を積極的に取り入れた。学生が運動遊びに関するテーマを決め、発表する機会を作った。</p> <p><保育研究環境> 子どもを取巻く環境に関わる論文に目を通す機会を積極的に作った。科学遊びや手作りおもちゃなど実践的な内容を積極的に取り入れた。学生が飼育や栽培に関するテーマを決め、発表する機会を作った。</p>
	授業改善のための取組	研修会や学会に参加し、担当科目に関する最新情報を入手し、子どもの発育発達、子どもの生活や健康等の授業内容の改善に生かしている。

教育（つづき）		
2020年4月～2021年3月（つづき）		
ゼミ	ゼミ活動 （卒業演習） （修了研究）	（卒業演習） ゼミ生 13 名全員が個々の研究テーマに基づいて、心身の健康、発育発達、海外の保育、生活リズム、睡眠習慣、遊び、運動習慣、障害、飲酒や喫煙、感染症等に関する調査を実施し、分析した結果を卒業レポートにまとめた。
	卒業レポート・ 修了研究テーマ	（卒業レポートテーマ） <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの睡眠習慣が健康に及ぼす影響 ・子どもの生活習慣と健康について ・子どもの健康と運動について ・生活習慣が子どもの健康に及ぼす影響 ・障害者への壁をなくした生活しやすい社会 ・日本の保育と海外の保育の違い ・睡眠の役割と問題について ・子どもの病気－精神疾患について－ ・マスク着用が子どもの成長に及ぼす影響について ・ドライアイについて－感覚器である目の現代病－ ・喫煙と飲酒が胎児にどう影響を及ぼすか ・子どものかかりやすい感染症－発症した際の子どもへの影響－
課外活動	現在、顧問を担当している課外活動はない。	
2020年3月以前		
主な教育業績	特になし。	

研究		
2020年4月～2021年3月		
タイトル（単著・共著）	年月日	発行所、発表雑誌、発表学会等
(学術論文) 5歳児の疾病罹患率の推移－60年間にわたる全国調査結果の分析(2)－（共著）	2021年3月	山梨学院短期大学研究紀要第41巻
(学術論文) 10年前と現在の高校生体力・運動能力の比較（共著）	2021年3月	山梨学院短期大学研究紀要第41巻
(学術論文) 学生の不安の愁訴の推移－35年間(1982～2017年)にわたる調査結果の分析－（共著）	2021年3月	山梨学院短期大学研究紀要第41巻
(学術論文) 短期大学学生の音楽志向・スポーツ志向・性格特性の関連性の分析－精神的持久力に着目して－（共著）	2021年3月	山梨学院短期大学研究紀要第41巻
(学会発表) 教科書からみる保育内容「健康」および「環境」の学習内容（共著）	2020年11月	第67回日本小児保健協会学術集会
2020年3月以前		
タイトル（単著・共著）	年月日	発行所、発表雑誌、発表学会等
(学術論文) 5歳児の疾病罹患率の推移－60年間にわたる全国調査結果の分析(1)－（共著）	2020年3月	山梨学院短期大学研究紀要第40巻
(学術論文) 10年前と現在の中学生の体力・運動能力の比較（共著）	2020年3月	山梨学院短期大学研究紀要第40巻
(学術論文) 学生の健康生活の変遷－35年間(1982～2017年)にわたる調査結果の分析－（共著）	2020年3月	山梨学院短期大学研究紀要第40巻
(学術論文) 短期大学学生の音楽志向・スポーツ志向・性格特性の関連性の分析(3)－協調性の高さに着目して－（共著）	2020年3月	山梨学院短期大学研究紀要第40巻
(学会発表) 近年出版された教科書からみる保育内容「健康」の学習内容（共著）	2019年6月	第66回日本小児保健協会学術集会
(学会発表) 学生の不安の愁訴の推移－35年間にわたる調査結果の分析－（単著）	2019年11月	第66回日本学校保健学会学術大会

社会貢献
産官学連携、高大連携、研修会講師、学外委員会活動、学会活動、講演会、等
2020年4月～2021年3月
<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度山梨学院短期大学免許認定講習、免許更新講習「保育内容特論健康」講師（2020年8月、10月、11月） ・令和2年度やまなし未来創造教育プログラム委員会に委員として出席（2020年6月） ・大学コンソーシアムやまなし単位互換部会に委員として出席（2020年7月） ・令和2年度笛吹市子ども・子育て会議に委員として出席（2020年7月、11月）
2020年3月以前（主なもの）
<ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度山梨学院短期大学免許認定講習「子どもと健康」講師（2019年8月） ・山梨学院子育て支援センター折り紙教室講師（2019年2月） ・平成30年度山梨学院短期大学教員免許状更新講習「保育研究環境」講師（2018年8月） ・平成30年度山梨学院短期大学免許認定講習「保育研究環境」講師（2018年8月） ・平成27年度山梨学院短期大学教員免許状更新講習「保育研究健康」講師（2015年8月） ・平成27年度山梨学院短期大学免許認定講習「保育研究健康」講師（2015年8月） ・東山梨教育協議会保健教育部研修会「子どもの健康と生活習慣」講師（2014年8月） ・山梨学院ともまなび講座「子どもの生活習慣と健康」講師（2014年7月）
受賞 ※個人、所属団体
農林水産省 第3回食育活動表彰「教育関係者・事業者部門消費安全局長賞」（2019年）